

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒が自ら課題を発見し、探究する意欲を高めることのできる教育課程の編成や特別活動の精選・充実に取り組む。学校行事や生徒会活動等の精選と充実を図り、生徒の主体的な活動を支援するとともにそのユニバーサルデザイン化をはかる。</p> <p>②生徒の主体的な学びを引き出し、個々の生徒に応じた教科指導体制の構築と評価法の研究を行い、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①新教育課程の実施により、表出する成果や課題を全職員で共有し、必要に応じて修正を加える。また、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、生徒会行事を可能な限り実施させる。</p> <p>②ICTを活用した授業展開を研究し、生徒の主体的な学びを引き出し、生徒が「授業における充実感」を感じられるよう授業改善に取り組む。</p>	<p>①学年進行する新教育課程の完成に向け、特に次年度の2・3学年の学習活動に支障がないか検証する。昨年実施されなかった生徒会行事についてはまずは実現を目標とし、経験不足の生徒を教員がバックアップしながら全員参加の持続可能な行事として実施させる。</p> <p>②ICT機器の活用、ペアワーク、グループワーク、発表等の活動と職員研修を通して、生徒同士が刺激しあえる場面を多く持つ授業づくりを行う。</p>	<p>①職員の意見等を通して、職員個々が適切に新教育課程を実施し、課題を整理できたか。教員相互の情報共有や研修会を適切に計画できたか。文化祭や球技大会などの生徒会行事を、コロナ禍での最善の対策を講じ、実施することができたか。</p> <p>②授業改善を通じて「生徒による授業評価」において生徒の充実感や主体的な学びの高評価を引き出すとともに、より公正な評価を行うことができたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①部活動の活性化を推進し、協調性と責任感の涵養を図る。</p> <p>②生徒指導と生徒支援の一体化を推進し、教育相談体制の充実と外部連携を進めるとともにユニバーサルデザイン化を図る。</p>	<p>①部活動の活性化のため加入率の向上と充実感の育成につながる継続的な支援体制整備に努めるとともに、学業との両立を押し進める。</p> <p>②各学年が生徒の課題を的確に把握し、個に応じた指導と支援が一体化した、きめ細やかな生徒支援を進める。</p>	<p>①部活動加入率及び定着率にも注視し、説明会等において入学前の中学生へ周知する。また、感染予防に努めコロナ禍においても継続的な活動を目指す。</p> <p>②学年会議やケース会議、支援会議等で、生徒個々の状況や課題、ニーズなどの情報を共有し、迅速かつ適切な支援を多角的に行う。</p>	<p>①部活動加入、定着の状況を把握し部活動の活性化につながったか。中学生への発信について、担当Gとの連携ができたか。</p> <p>②学年会議やケース会議、支援会議での情報共有や学習環境の整備を通じて、個々の生徒に応じた支援につながっているか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>①生徒自身が考え、体験をするなど、主体的に取り組むキャリア教育を計画的・段階的に実践する。</p> <p>②「実践推進校」として、生徒一人ひとりの社会接続を実現するために、ていねいな進路支援を行う。</p>	<p>①生徒一人ひとりの希望進路の実現に向け、保護者及び生徒との綿密な情報共有を図る。説明会や進路情報の発信を細やかにを行い、生徒の主体的な進路実現の動きを促す。</p> <p>②特別募集で入学した生徒の社会接続に組織的に取り組む。</p>	<p>①生徒が自らの進路開拓に挑戦する姿勢を支援し、生徒・保護者との情報共有や進路データの有効活用、多様な入試制度に係る的確な情報提供を図る。</p> <p>②3年間の「進路実践」を系統立てて生徒の現在の位置を自覚させ、生徒個々の希望に応じて幅広い実習・体験先の開拓を行う。</p>	<p>①各生徒の進路目標が明確になり、安易な進路選択とならない意識付け(1・2年)や、第一志望の実現(3年)ができたか。</p> <p>②系統的な授業展開や保護者への説明会等を通じ、特別募集生徒の個々の希望を踏まえた社会接続が実現できたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域に情報発信するとともに、生徒の地域理解と地域貢献を通じ、連携と協働を推進する。</p> <p>②地域と連携して、地域防災を推進する。</p>	<p>①本校の魅力の発信のためにHPやデジタルコンテンツの充実を図る。様々な外部の意見を聴取し、学校運営に活かす。</p> <p>②防災関係のマニュアルの周知を徹底するとともに防災教育を推進し、総合的な防災体制を強化する。</p>	<p>①地域貢献活動の復活を目指し地域交流の場を設定する。HPによる本校の特色や取組みの発信を行う。</p> <p>②紙上防災訓練(DIG)に加え、地域にも協力を得た災害に対処する実践的な訓練を計画実施する。</p>	<p>①地域との連携・交流の実績がどれだけあったか。HPによる本校の特色や取組みの発信を昨年度以上に発信できたか。</p> <p>②地域と連携した防災体制整備及び訓練が実施できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①学校全体で教育環境に対する課題を共有し、組織的・計画的に改善していく体制を整える。</p> <p>②不祥事防止に努め、実効性のある組織的な取り組みを行う。</p>	<p>①昨年度より継続している、魅力と特色づくりのための会議をさらに発展させる。学校課題を改めて分析するとともに、全職員で学校課題の解決に向け、具体的な改善手法に取り組む。</p> <p>②不祥事防止研修を職員が自分事として捉え、事故や不祥事を絶対に起こさない。</p>	<p>①複数回にわたる協議と建設的な意見交換を経て、具体的な提言を行い、実行に移す。</p> <p>在校生の満足度や受検者数の増加に直結するよう、本校の魅力を広報活動等で周知する。</p> <p>②不祥事防止研修では、職員が日ごろからの心がけを述べる機会を増やすなど、全職員が主体的に研修を捉えられる具体的な方法を計画、実践する。</p>	<p>①生徒の学力向上や人格形成につながる具体的な、しかも持続可能な課題解決策を示すことができたか。また本校への志願者数を増やすことができたか。</p> <p>②不祥事防止研修で、意見発表を行うなど、主体的な参画意識をもって、研修に臨むことができたか。</p>